

# 三方よし

藤枝市立藤枝中央小学校



## 校内音楽会 無観客についてお願い

校長 新村和彦

すでに、道徳だより「三方よし」（10月13日付）で、新型コロナウイルス感染症に対する学校行事の基本的な考え方と、12月末までの主な学校・学年行事の対応についてお知らせしました。

今回は、校内音楽会無観客について再度のお願いです。

### 学校行事の基本的な考え方

- ：【感染対策は、従来以上に意識して実施する。】
- ：【学校への人流を抑制するために、無観客で実施する。】
- ：【子どもが楽しみにしている学校行事は中止ではなく、どうすれば実施できるのかを考える。】

### 校内音楽会 12月17日（金）

※学年団にするか1学年ずつの発表にするかは、12月の感染状況による。

無観客 オンデマンド配信（ライブ配信ではありません。）

※校内音楽会延期に伴い、12月18日（土）学校公開日中止

※12月20日（月）通常授業

緊急事態宣言が解除された後は、「国内感染者今年最小」「4日間連続30人を下回る」「新規感染者ゼロ」など、感染が収束方向に進んでいるニュースが連日報道され、嬉しい限りです。大相撲やプロ野球などのスポーツ中継を見ると、かなり観客が入っていて、コロナ禍であることを忘れそうな客席の様子です。学校では、引き続き感染症対策に取り組んでいますが、世の中の動きとしては、「新しい生活様式」を守りながら、コロナ前の生活に戻りつつあるのかなという思いでいます。

しかし、感染リスクが高い教科の音楽の授業は、緊急事態宣言中はかなりの制限があり、現在も従来の音楽授業ができていません。以下は、音楽の授業に対する学校側が取り組んでいる、主な対応策です。

- ① 歌唱の際は、**マスクを着用**して行う。リコーダー・鍵盤ハーモニカの学習の際は、**フェイスシールドを着用する。**
- ② 歌唱・器楽の学習の際は、**原則、子ども同士間隔の取れる音楽室を使用**する。  
※低学年も可能な範囲で、音楽室を使用する。  
**教室での歌唱の際は、マスクを着用し、大きな声での発声は避ける。**
- ③ **楽器の共用は避ける。**使用後は、可能な範囲で消毒を行う。
- ④ **リコーダー・鍵盤ハーモニカの学習は、音楽室や体育館など、間隔が保てる場所で行い、連続した実技の練習時間は、長くならないようにする。**

現在、藤枝市内においても感染者数が0人の日が続いていますが、校内においては、毎日欠席者が20人～30人程度います。症状は、発熱、のどの痛み、せき、腹痛、兄弟姉妹関係の体調不良など様々です。



このように学校の実情を考え、以下が、無観客とする主な理由です。

- ・コロナの感染者が少なくなったとしても、引き続き注意深く、感染症対策・体調管理には意識して取り組んでいく必要があること。
- ・第6波が必ずくるといわれている中で、1か月先の感染状況、欠席状況が読めないこと。
- ・学校への人流は、必要最低限に押さえたいこと。
- ・音楽会当日、体調不良で欠席者が多くいた場合、急遽の予定変更が容易なこと。
- ・音楽練習が満足にできないため、従来の披露するレベルに到達するのが難しい状況を考え、子ども同士が聴き合い、お互いの努力を認め合う場に重きをおくこと。

ご迷惑をおかけしますが、保護者の皆様の、ご理解とご協力をお願いいたします。